



自治会だより

～世代超え 気持ち繋がる
ふるさとへ～

2022
初夏号



新年度によせて

自治会長 小田木 文雄

第34回通常総会(書面決議)において、自治会長を仰せつかりました。

役員に就任して、はや4年目になりました。しかし、同年末に新型コロナウイルスが発生し、ウイルスの変異株が進化して感染が収束する兆しも見えません。人間より遙か昔から生存しているウイルスの、生命力を強く感じます。とはいえ、負けるわけにはいきませんので、感染予防対策を継続していきましょう。

昨年度は、J・C・O・Mへの移行も無事に終わりました。自治会行事は、ふるさと祭りとごみゼロ・クリーン運動が中止になり、春と秋の生垣・庭木害虫駆除の実施だけとなりました。また、コミュニケーションの場と

して各班の班会議実施も低調で、書面での開催が多かったようです。今年度は、集会所を利用して班会議を開催することで、コミュニケーションを図っていただけますよう、ご検討をよろしくお願いいたします。

今年度もコロナウイルス感染の影響により、自治会行事や集会所利用等が制限されることになると考えられます。リスクはあるかもしれませんが、しっかりと対策を施し、できることは実施していきたいと考えています。

今年度もご協力をよろしく
お願い申し上げます。



第34回通常総会

報告・質疑

総務部長 河口 由紀子

白岡ニュータウン自治会通常総会ならびに自主防災会通常総会は、昨年引き続き3年連続で書面決議となりました。依然として収束しない新型コロナウイルス感染症拡大を懸念しての措置ですが、来年は総会を開催できるよう願ってやみません。

今年の会員世帯数は、昨年より1件増の1,405件、決議書の提出数は915件で、65.1%の提出率でした。

前回より提出率が微増したことを、自治会活動を推進するうえで大変ありがたく、かつ真摯に受け止めております。

決議の結果については、全員一致による承認はありませんでした。活動・決算報告および活動計画(案)をはじめ各案件いずれも

若干の反対はありましたが、各々900近い承認から900以上の承認をいただきましたので、原案どおり可決いたしました。

会員の皆様から、自治会活動等に対するご意見、ご質問等をいただいておりますので、主なものについて左記にご紹介します。

自治会運営について

Q ごみ集積所にアルミ蓋付ボックスを設置してほしい。

A 現状どおり既存のネットを利用してください。

Q ごみ集積所のコンクリートブロックが車で壊されたが、誰が直すのか不明。修理をしてほしい。街区NOプレートも取れたまま。

A 修理を検討します。

Q 自治会資源ごみ回収ではなく、市の回収ごみでアルミ缶・ダンボールなどが出されているが、自治会のPRが届いていないのでは？

A C A T Vが終了し、現在は回覧による案内、自治会ホームページや回収日前日のLINEによる徹底となります。皆様のご協力をお願いいたします。

Q 班員の老齢に伴い班長の仕事の簡素化をお願いしたい。

A 班長の選任は各街区に一任しております。どうしても班長にできない事情がありましたら、街区の中で話し合ってから、街区の中で話し合ってから、除してもらってください。

Q 高齢で落ち葉清掃に限界がある。

A 無理はせず、できる範囲で清掃のご協力をお願いいたします。

Q ペットの排尿。家の生垣や緑道、公園でオシッコをさせないでほしい。

A 2月の回覧で注意を促しました。

た。今後は飼い主さんのマナーに期待します。

Q 集会所の利用は時間制を希望。

A 今後、検討します。

Q 集会所の利用料金が市の公民館と比べて高いので下げしてほしい。

A 今後、検討します。

Q 決算の予備費113,300円にピアノ運送費・修理費とあるがこれは何？

A ピアノは会員の方から寄附され、1丁目集会所に運び設置しましたが、ピアノ線が古く修理が必要となりました。

Q A E Dが必要なときに保管場所に鍵がかかっていると使用できない。

A 自治会では集会所が利用されているとき、2丁目の事務局が開いているときは使用可能です。

Q 令和3年から公的委員の名簿が削除されている。会員の方には公的委員の氏名・連絡先



令和4年度 自治会役員

※写真撮影の時のみマスクを外しています。

Ⓐ 必要と考えるが、掲載に向けて前向きに検討します。



- Ⓐ 悠友会の補助金をなくす事由は？
- Ⓐ 補助金とは団体の活動資金の不足に対し補助するものと自治会では考えています。悠友会では潤沢な繰越金があり、補助金は不要と判断させていただきますました。
- Ⓐ 令和3年に一般口に移動したCATV口の約7,800万円は、令和4年度予算案にどのように反映されているのか。
- Ⓐ 令和4年度の予算には計上していません。今後は自治会集会所の建替や修繕等大口案件に使用する予定です。
- Ⓐ 集会所にWiFiを入れてほしい。
- Ⓐ 現在、2丁目集会所には設置しております。
- Ⓐ 1丁目の区長と区長代理を2丁目の人がやっているのはなぜ。
- Ⓐ 従来より新白岡1丁目から3丁目の区長・区長代理は、同一行政区の自治会役員から選任



- Ⓐ 今年度の1丁目区長・区長代理1名の選任につきまして、1丁目役員の皆様より、お勤めされているため平日の区長業務はできないとの申し出がありました。市の地域振興課に同一行政区からの選任は難しいこと、新白岡1丁目から3丁目の行政区は白岡ニュータウン自治会内にあり、共同して活動していること等を説明し、今回は他の行政区(2丁目)の自治会役員から選任することを了承していただきました。

その他の質問について

- Ⓐ 路上駐車が目立つので昼間のパトロールを希望。
 - Ⓐ 久喜警察署と今後の対応を検討します。
 - Ⓐ 蚊が多く発生しているため対策をお願いしたい。
 - Ⓐ 十数年前はU字溝や雨水桝に薬剤を撒いていましたが、環境の面から中止しています。
 - Ⓐ 中央通りにある照明灯の傘の内側が汚れているので清掃してほしい。
 - Ⓐ 以前より市に要望はしていますが、非常に手間がかかることで良い返事はもらっていません。電球交換時に傘の内側の清掃をもらうよう依頼します。
 - Ⓐ 中央通り街路樹のツツジ(3丁目)がきれいに育っていないので植樹を希望。
 - Ⓐ 市の道路課と相談し対応します。
 - Ⓐ 今年3月に中央通り中間の横断歩道で人身事故が発生。この交差点は事故が多いので改善が必要。
 - Ⓐ 久喜警察署と有効な策を検討します。
- この他、行政や警察への要望事項につきましては、機会を捉えながら対応いたします。

自主防災会 通常総会質疑及び

令和4年の活動について

自主防災会会長 田端 勇治

新型コロナウイルス感染症予防のため、本年も総会開催が中止となり書面決議となりました。まず最初に総会資料に誤りがあり、お詫びして訂正させていただきました。21ページ、令和4年度自主防災会予算(案)前年度実績の数値に誤りがあり、18ページの令和3年度自主防災会決算報告の実績の数値に全て置き換えていただくをお願いいたします。

次に、防災資機材についてのご質問と家庭内での防災対策についてのご提案をいただきました。その方には回答させていただきました。ありがとうございました。

さて、令和4年度の活動については総会資料に記入してありますのでご確認ください様お願いいたします。

自主防災会の活動もコロナの関係で制限されています。昨年は自治会員の皆様及び班長さんのご協力をいただき、10月31日に『無事ですタオル』掲出訓練を行うことができました。一昨年に比べ掲出率がだいぶ向上いたしました。皆様のご協力に厚く感謝いたします。

災害は時と場所を選ばずに発生します。災害の被害を最小限にするために大切なのは、自助・共助です。コロナ禍だからこそ、今できる防災対策を家庭内で実行に移しましょう。また向こう三軒両隣の助け合いが大切です。近所の繋がりを強くいたしましょう。

本年も自主防災会の活動への皆様のご支援ご協力を、心よりお願いいたします。

自主防災会メンバー



※写真撮影の時のみマスクを外しています。

LINE登録のご案内

自治会CATV終了後の情報はHPもしくはLINEで見ることが出来ます。LINEは左のQRコードから「お友達登録」をして下さい。

こちらからLINEの友達登録ができます



新任役員挨拶

新副会長

池上 嘉一



この度、副会長に選任されました池上です。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により通常総会をはじめとして自治会活動の多くが中止を余儀なくされました。今年度もコロナの収束が不透明な状況ですが、会員の皆様のご支援、ご協力を賜りニュータウン自治会発展のために頑張ってください。よろしくお願いします。

最後になりますが、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



新任役員挨拶

新副会長

関根 勇



2年間会計部長として自治会活動に携わり、最初は手探り状態から他の方のご指導、ご支援を得て勤めることが出来ました。

今年度も自治会活動に貢献できればと思っております。この副会長の依頼があり、引き受けることになりました。

自治会の方とも知り合いになり、活動が少し判るようになったばかりですが、副会長として少しでもお役に立てればと思いい、努めますのでどうぞ宜しくお願い致します。

新総務部長

河口 由紀子



総務部長に就任しました河口です。この街に越してきたのはパブル絶頂期で、抽選会の倍率は高

く、隣組10軒のうち6軒が三世帯同居でした。街は若く、公園にはたくさん子どもたちが遊んでいて活気に満ちていました。

白岡ニュータウンができて約30年。街の成熟とともに、単身高齢者宅の増加など、抱える課題は諸々変化しつつあります。コロナ禍のなか、自治会の活動に制限はありますが、生活に密着した活動を担う総務部として、この街が今後も花と緑に溢れた美しさを保ち、会員誰もが安心して暮らせる街であり続けるよう貢献していく所存です。皆様のご支援をお願い致します。

新事業部長

五十嵐 由香



今年度、事業部長を務めさせて頂きます、五十嵐です。

昨年度は、事業部副部長として、「ふるさと祭り」や「リングゴ販売」の企画に携わりました。結果

的に、コロナ禍での活動は断念せざるを得ないこととなり、事業部企画によるイベントは実施されないまま一年が過ぎました。

今年度も、先行きが見通せないままでのスタートです。3年間で止続きの「ふるさと祭り」は、コロナ禍だけではなく、班長の高齢化という問題も抱えており、従来のやり方で実施できるのかという課題もあります。皆様方のお知恵を拝借しながら、事業部としてできうることを進めてまいりたいと考えております。皆様のご協力、どうぞよろしくお願い致します。

新環境部長

阿部 秀夫



今年度の環境部長に選任されました阿部秀夫です。白岡ニュータウンに転居して22年目になります。班長しかやったことがなく、去年の環境副部長からの選任

となりました。微力ながら少しでもニュータウンの美化に貢献できればと思います。

昨年度はコロナ禍でごみゼロ・クリーン運動の開催はできませんでした。今年度の環境部美化活動も同じ理由で制約があると思いますが、会員皆様の絶大なご協力を頂き推進させていきたいと考えております。

新会計部長

麻生 俊一



よろしく申し上げます。

今年度、会計部長に就任しました麻生でございます。ニュータウンに越してきて31年になります。現役を引退した今、地元へ恩返しをと思いい、役員を引き受けました。自治会運営については、初めてでございますが、白岡ニュータウンがますます発展し、住み心地の良い街となるよう、将来を見据えた予算決算の作成を心がけます。



また、ニュータウン自治会の正副会長及び各役員の方々のご協力を得ながら、事務局とともに予算の執行管理・監査業務に対応してまいりたいと存じます。

何事も協調を重視しながら、努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

新広報部長
藤田 大祐



広報部長を務めさせて頂くとになりました。

私は9年前にも広報部の役員を務めさせて頂き、今回で2回目となりますが、コロナの影響によるイベント中止が相次ぎ、自治会広報としての活動が難しくなってきたと感じております。このような環境の中、どのように皆さんへ自治会の情報を伝えることができるかを考えていきたいと思えます。

宜しくお願い致します。

退任役員挨拶

元副会長
(前総務副部長)
加賀谷 秀樹

2017年の11月頃、我が家に突然二人の男女がやってきました。おもむろに「自治会の役員やらない？」とのこと。後でこの二人は当時の会長と副会長と知りました。以前住んでいた所で自治会の役員をして近隣の方々を知り合いになれたこともあり、二つ返事で「OK」と答えました。

ところが、それから大変！2018年度は自治会30周年の事務局で大忙し、2019年度と2020年度は副会長になりましたが、葬儀場関連で大騒ぎ、更にこの年はJ・COMの件もあり、忙しい1年でした。

J・COMはこの地域への進出を断念していましたが、上手く繋ぎとめることができ、昨年、無事



に自前のCATVを終了することが出来ました。暑い8月に電柱の使用許可を貰いに自治会員の自宅を回ったことが良い思い出です。結局4年も役員を務めてしまいましたが大変、充実した日々を過ごせました。皆さんのご協力に感謝します。

前広報部長
柿沼 久雄

6年間もの長期間広報部役員を務めるとは思いませんでした。後半3年間はCATV施設をどうするかが課題でした。継続する場合の送受信所用地の借用継続交渉、老朽設備更新経費の算出、廃止した場合11chに代わる広報方法をどうするか、新事業者に委ねる場合参入業者の選定、各種交渉など、どちらを選択しても容易でない道筋でした。

幸い役員各位のご助言ご協力を得て新事業者に委ねる案を作り会員皆様の賛同と切替工事にご協力を頂き新方式への切り替と旧設備撤去工事が全て無事終了できました。感謝申し上げます。

今後の自治会活動は若い人たちに、更に発展されますことを期待しております。有難うございました。

特別寄稿

白岡人物伝 第十二回 (最終回)

地域の人材育成に貢献 中島撫山

白岡市文化財保護審議会会長 板垣 時夫

白岡駅西口ロータリーの県道の向側に「新設白岡車站之記」という立派な記念碑があります。この記念碑の撰文と書は、漢学者中島撫山によるものです。なお、「山月記」で有名な作家中島敦は撫山の六男田人の子です。

中島撫山とは

中島撫山は文政12年(1829)に江戸日本橋新乗物町(現中央区堀留町)に生まれました。生家は諸大名に駕籠を納入する名家でした。撫山は14歳の時に亀田綾瀬(りよせ)に入門しました。初めは家業



中島 撫山

を継ぎましたが、商いに馴染まず、家業を捨てて学問の道に進みました。

30歳で江戸両国に私塾「演孔堂」を開き、漢学教授を生業としました。後の明治2年(1870)

12月には久喜本町(現久喜市)に移住し、同6年には住居に私塾「幸魂教舎」を開塾しました。明治44年(1911)6月に83歳で永眠し、墓所は久喜市内の光明寺にあります。撫山は優れた漢学者、私塾教育者としての生涯を閉じました。

私塾「幸魂教舎」での教授

撫山は「幸魂教舎」で漢文や国学を教授いたしました。後に「言揚学舎」と改め、撫山が病没するまで40年間続き、門人数は千数百人にも及び地域の有力者を多数

輩出しています。市内では、全域から37名が学び、卒業生の多くは明治期から大正期にかけて地域の農業経営者や地域のリーダーとして活躍しています。

市内の記念碑

撫山の撰文による碑文は市内に10基確認されています。これは、県内でも有数のものです。主なものとして白岡駅の設置のいきさつを記した「新設白岡車站之記」(明治43年)のほか、岡泉観音堂の「庚申」の文字を百体で記した「百庚申の碑」(明治5年・市指定有形文化財)、元荒川と見沼代用水の交差点の構造物柴山伏越の由緒を記した「柴山伏越改



白岡八幡神社「恭掲」

造の碑」(明治20年)、白岡八幡神社の「新修八幡廟前殿記」(明治28年)などがあります。

神社に奉納された扁額として、白岡八幡神社の「恭掲(田宮流剣術由緒)」、下大崎住吉神社の「振古如茲(豊作を予祝する詩)」などがあります。このほかにも、書として五言絶句、七言絶句などの漢詩が幸魂教舎の教え子の家などを中心に数多く伝えられています。このように撫山の碑文や書などの作品が白岡市に多く残されているのは、幸魂教舎の教え子などの手によるものと思われ

ます。
※12回にわたって紹介してまいりました「白岡人物伝」も今回が最後となります。第1回の新井白石から白岡ゆかりの人物を9名紹介いたしました。百年後に紹介されるのは、あなたかも知れません。長い間お付き合いいただきありがとうございます。

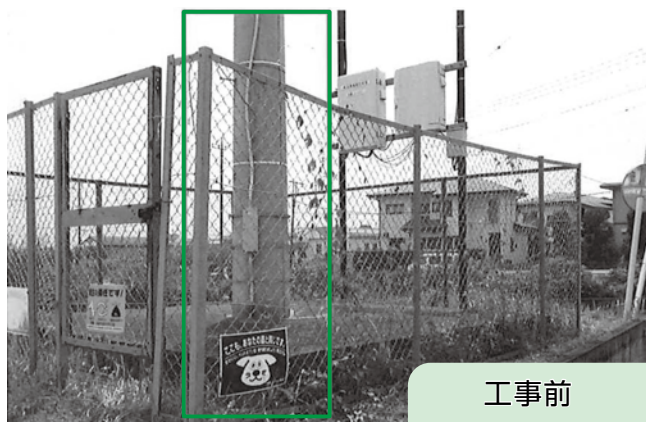
CATV施設 撤去工事完了

CATV施設

撤去工事完了

柿沼 久雄

昨年10月末から行われた撤去工事は今年2月末に完了しました。主な工事内容は1〜3丁目街区に張り巡らされた延べ19kmにわたる幹線ケーブルと各戸への配信ケーブル、その間に設置された50余台の分配増幅器、公園に設置された給電用電柱5本、送受信所のアンテナ鉄塔と基礎、建造物の撤去、そして東電、N T T電柱500余本の借用終了手続き、総務省、放送各局への事業廃止届け、市役所への公園使用終了届けなどです。工事と各種手続きの仕様書を作成して3業者に提示し入札を経て行われました。総工費約1千3百万円(税込み)でした。一番の難工事は受信所アンテナの撤去で地下3m余に埋まった基礎部の解体撤去でした。(写真参照)



編集後記

先日、三男がネギを持って中学校から帰ってきました。友達と川で魚をみていたら野焼きが始まったので土手にあがると、「気づかずごめんね、スーパージョーもいけど、こういうのもおいしいから持ってって」と持たせてくれたのだそうです。味噌汁に入れると「このネギおいしい」と喜んで食べていました。

思い出したのが、5、6年前の夏休みの終わりのこと。弁当作りに疲れ、長男に「お昼は三人でジャンジャンでラーメン食べて！」と頼み出勤しました。帰宅すると「知らないおじさんがラーメン代払ってくれた！」と嬉しそうに報告してくれました。子供たちと一緒に大切に育ててくださるこの地域の方に、この場をお借りして感謝申し上げます。

(伊東)